

87年夏季物品販売スタート

日刊
動労千葉

87. 5. 15

No. 2550

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
(鉄電)二九二五六・(公衆)〇四七二(22)七二〇七

戦闘的労働運動の大団結かちとれ

動労千葉協販部は、一年目を迎えた物販運動をスタートするにあたり、次の一
とおり全国に要請を発した。昨年夏・冬季の物販運動も大成功をおさめ、組織
・財政基盤の確立はもとより、全国の闘う労働者との交流を深め、闘う全国潮
流を築く上で大きな成果を上げた。二年目の物販運動は、昨年に増して重
要な取り組みとなつた。全組合員・家族のさらなる協力で地域に運動を広げ、
動労千葉の闘う体制をさらに強固なものにしようではありませんか。

’87夏季物品販売へのご協力のおねがい

日頃のご奮闘に心から敬意を表します。いつもかわらぬご支援をいただき誠にありがとうございます。物販売におきましては、昨年夏・冬ともに多大なご協力をいただきありがとうございました。初年度であつたにもかかわらず成功をおさめることができましたのは皆様方のあたたかいご支援のおかげであります。心から御礼申しあげます。

さて、国鉄は四月一日をもつて三十八年の公共企業体としての歴史の幕を閉じました。動労千葉は五年をこえる嵐のような国鉄労働運動つぶしの攻撃のなかで、これと真正面から対決してたたかいぬき、そして路線を堅持し組織の骨格を維持したまま新たなたたかいのスタートを切りました。なかでもこの二年間の攻撃は熾烈をきわめました。私たちは二波のストライキをうちぬき、七波の順法闘争をたたかい、二十八名の解雇者、千名の処分者を出しながら総力をあげてたたかいぬいた結果、敵の狙いをうちくだいて緒戦のたたかいで勝利しました。勝負はこれからであります。

まさしく中曾根は帝国主義の延命をかけて戦争への道をひたはしり、「戦後政治の総決算」攻撃をかけてきました。戦後民主主義を否定し資本主義の行き詰まりの責任を労働者にかぶせて、労働者を切り下す攻撃であります。国鉄分割民営化のねらいは労働組合（國労・動労千葉）をたたきつぶすことであり、その後に転向者・労働革マル松崎を手先に、産業報国会を組織し、ストライキを禁圧し、天皇思想を奉じる企業ぐるみの運動をつくることです。鉄道労連は国鉄を産業報国会企業につくりかえるファシスト組合であり、戦争国家づくりの手先にはなりません。断じて許せるものではありません。

この攻撃は成功したであります。敵の狙いは大破産しました。動労千葉が不屈にたたかいぬき、なによりも国労が臨時大会で労資共同宣言の道を拒否し、全国の人活センターで総反乱をたたかいぬいたからです。今日なお国鉄労働者が直面している情勢は厳しく、日本の労働運動にとつても非常に大きな試練であります。この攻撃を絶対にうち破つていかなければなりません。

昨秋の激戦のなかから動労総連合が発足しました。高崎・水戸の仲間の決起であります。私たちは当面動労総連合の全国的拡大をはかり、たたかう国労の仲間と連帯し、鉄道労連解体一掃のたたかいをおしすすめます。また産業報国会運動と対決する全国の戦闘的労働運動の大團結の先頭にたつてたたかいぬく決意であります。

私たちは争議組合の位置づけをさらにはつきりさせ、財政基盤を確立するため今夏も解雇者を先頭に物販活動に全力でとりこんでまいります。地元千葉県内はもとより全国の皆様のご支援ご協力を心からお願ひ申しあげます。

一九八七年五月

各位殿

国鉄千葉動力車労働組合
執行委員長 中野洋